

新文化ホール
運営管理予定事業者審査基準

平成29年(2017 年)4月

市が運営管理予定事業者に対して特に期待する項目は以下の通りである。

- 多世代にわたり、多数の市民の芸術鑑賞機会を確保するため、集客力の高い様々なコンテンツを誘致する。また、誘致を促進する運営上の魅力的な取り組みの提案を期待する(指定管理者自らが開催する催しは、収支を十分に検討し、収益を確実に確保できるよう留意すること)。
- 将来にわたり、市民の文化芸術の振興を図るため、青少年が文化芸術に親しむ機会、あるいは若手アーティストを育成する機会等の創出を期待する。また、様々な場面において、市民との連携に努めてもらいたい。
- 小ホールについては、市民の生涯学習の参加の場として、できるだけ多くの市民に、積極的に活用されることを期待する。
- 収支計画が黒字もしくは赤字を最小限に抑え、将来にわたって安定した運営管理を実現する。
- 利用者及び観客が快適に、そして安心・安全に利用及び鑑賞できるよう、利用者及び観客に対するサービスレベルの高さと徹底した安全管理体制で施設の運営管理を遂行し、事故を未然に防ぎ、万が一発生した際でも迅速に対応し、拡散を防ぐとともに速やかな終息を図る。
- ホールのみにとどまらず、周辺施設や地域とのつながりに留意するとともにデッキに面する場所においてまちの賑わいに寄与する附帯施設(飲食等)の運営(転貸可)を期待する。

これら条件を実現できる運営管理予定事業者を選定するため、以下の審査基準を定める。

審査基準は 300 点満点で、配点の内訳は以下の通りとし、これらの評価点の合計点をもって、応募者に順位付けを行う。

審査項目	配点
提案金額に関する評価	100
運営・維持管理業務に関する評価	100
団体及び運営管理共通事項に関する評価	100
合計点	300

①提案金額に関する評価

	評価項目	評価基準(配点)	配点	備考
収 支	収支計画	市への納付金 (赤字が発生する場合はその 毎年の赤字額をマイナスで記 入すること)	100	下記の評価式にあてはめて審 査を行う
合計			100	

<評価式>

$$\left[\left[1 - \frac{\text{最良額} - \text{提案額}}{\text{市が想定する金額}} \right] - \left[\frac{1 - \frac{\text{最良額} - \text{最悪額}}{\text{市が想定する金額}}}{2} \right] \right] \times 100$$

②運営・維持管理業務に関する評価

	評価項目	評価基準(配点)	配点	備考
運営管理の基本方針	運営方針	新文化ホールについて、市の芸術文化活動を支える総合的な中核拠点施設として、質の高い芸術文化の創造と振興の場の実現に向けた積極的な運営方針となっているか	20	
		ホール運営において、青少年や若手のアーティストなど人材育成につながる方針となっているか		
		大ホールについて、グリーンホールが果たしてきた芸術鑑賞の機会を確保する役割を担うことができる運営方針となっているか		
		小ホールについて、市民が生涯学習の参加の場として活用することができる運営方針となっているか		
		小ホールの年間稼働率及び年間来場者数は適切に想定されているか		
		利用者及び観客が快適に、安心・安全に利用及び鑑賞できるサービスレベルの高さと徹底した安全方針となっているか		
	大ホールの適切な客席数	大ホールの客席数が、提案する運営方針に基づく考え方となっているか	5	
		大ホールについて、年間稼働率及び年間来場者数を達成するために適切な客席数が設定されているか		
	開館時間等	新文化ホールの開館時間等について、提案する運営方針に基づいた考え方となっているか	5	
		新文化ホールについて、年間稼働率及び年間来場者数を達成するために適切な開館時間及び休館日、貸出単位が設定されているか		
運営管理計画	運営計画	集客力の高い多様なコンテンツの誘致又は開催が実現できる提案か	20	
		誘致予定公演の内容が、世代を問わず、多くの市民等に魅力的な内容となっているか		
		利用者の開拓や訴求力の高い広報宣伝活動など、多角的で効果的な方策を戦略的かつ時系列的に展開する提案となっているか		
		ホールの利用に関して、市民利用と貸館事業の事業性の観点から、一般貸館と特別貸館とのバランスや稼働率向上(活用されにくい時間帯・曜日の活用提案等)を踏まえた提案となっているか		

	ホールの利用に関して、大ホール、小ホールとも市民が利用する枠は適切に確保されているか		
	開設準備、開設記念式典、こけら落としに関して、新文化ホールの運営方針に基づくとともに、市の芸術文化活動を支える総合的な中核拠点施設として十分に認知されるような提案となっているか		
料金体系	施設利用料金(附属設備利用料金を含む)が利用者の過度な負担にならない適切な範囲に収まっているか	10	
施設設備の維持管理計画	施設設備の維持管理計画は具体的で、実現できるものか	10	
	ライフサイクルコストの減少のために有効な実現できる工夫が提案されているか		
	経費節減や効率性の向上に寄与する実現できる工夫が提案されているか		
組織体制、職員の適正配置	当該施設の管理運営を担うのにふさわしい人員数が配置されているか	15	
	豊富な知識や経験、資格等を有する職員が多数配置されているか		
	人権研修等、職員の質の向上を図る従事者研修や業務指導に関する方針や計画が示されているか		
提案	市民が鑑賞しやすい環境を整えるため、市民利用料金の割引、チケットの優先予約ほか市民へのサービス提供が具体的に提案されており、市民がメリットを感じる内容になっているか	15	
	ホールのみにとどまらず、周辺施設や地域とのつながりに留意するとともに、デッキに面する場所においてまちの賑わいに寄与する取り組みや附帯施設(飲食等)の提案が含まれているか		
合計		100	

③団体及び運営管理共通事項に関する評価

	評価項目	評価基準(配点)		配点	備考
財務状況報告書	自己資本比率の状況	20 パーセント以上	15	15	○財務体質等は代表企業について審査を行う ・計算に要した証拠書類も提出 ・経営の安定性を判断 ・自己資本÷総資本×100
		10 パーセントから 20 パーセント未満	10		
		0パーセント超から10パーセント未満	5		
		0 パーセント	0		
	流動比率の状況	150 パーセント以上	15	15	・計算に使用した証拠書類も提出 ・短期的な支払能力を評価 ・流動資産÷流動負債×100
		100パーセント以上150パーセント未満	7		
		100 パーセント未満	0		
	経常利益の状況	5 事業年度のうち、3 事業年度が前期より向上している	15	15	・計算に使用した証拠書類も提出 ・当期経常利益と前期経常利益を比較し、経常利益が増加しているかを判断 ・確定した直近 5 事業年度の状況で評価 ・経常利益の証拠書類も提出
		5 事業年度のうち、2 事業年度が前期より向上している	10		
		5 事業年度のうち、1 事業年度が前期より向上している	5		
		5 事業年度とも、前期より向上していない	0		
	決算状況	5 事業年度のうち、3 事業年度が黒字	15	15	・計算に使用した証拠書類も提出 ・確定した直近 5 事業年度の損益計算書の経常利益で評価
		5 事業年度のうち、2 事業年度が黒字	10		
		5 事業年度のうち、1 事業年度が黒字	5		
		5 事業年度とも赤字	0		
過去の実績	企業の実績や能力	同種施設の業務の運営実績を有し、成果を上げているか		20	
		運営業務又は維持管理業務に関する専門的知識や資格、実績を十分に有しているか			
	公演実績	過去 5 年、主催又は誘致した公演実績は、集客力及び収益性が高いものか。また、分野は豊富か。文化芸術の振興に大きく寄与すると考えられるものか		20	
合計				100	